

18 共通空間の活性化

昇降口や廊下・階段等は、利用する生徒の数に応じ、必要な広さや寸法を確保する必要があります。安全で円滑な動線になるようにするとともに、生徒が溜まることを想定した場所を用意するなどの工夫が見られます。



生徒玄関の先に広がる1・2階吹き抜けの空間「フォワイエ・マレ」。フランス語で「若者が集まる場所」を意味しており、登校する生徒たちを温かく迎え入れている。(カリタス女子中学高等学校)



教室棟各階の廊下に設けられた「HUBスペース」。フロアの生徒同士を結びつける中心となるよう名付けられた。(郁文館夢学園)



校舎内の吹き抜けのアトリウム。面する廊下から各階の様子が感じられ、全学の一体感を生み出している。(八千代松陰高等学校)



中庭を囲んだホール。モザイクのフロアデザインが外部に連続しており、広がりを感じさせる。(大阪市立咲やこの花中学校・高等学校)